

## ー世界初 金本位制に基づく「仮想通貨」創設を視野ー 社員対象に電子通貨の実証実験を 12 月開始 キャッシュレス化によるサービス向上めざす

ハウステンボス（長崎県佐世保市）は、独自の電子通貨「テンボスコイン（仮称、以下省略）」を使った決済システムの実証実験を 12 月中旬から約 3 ヶ月間、従業員を対象に開始します。電子通貨の導入により、キャッシュレス化によるサービス向上を図ることで、お客様がより快適にお楽しみいただける環境づくりを目指します。

将来的には、「テンボスコイン」を、円やドル、ビットコイン等との両替可能な「仮想通貨」とすると同時に、世界初の「金本位制に基づく仮想通貨<sup>\*1</sup>」とする計画です。

(\*1) 実際に発行される「テンボスコイン」が同等の金に裏付けられているシステムで、ハウステンボスではすでに 1 トンの金（約 50 億円相当）を所有しています。なお、所有する金の一部を公開する施設「黄金の館」が 12 月 16 日に新登場します。本物の純金に触れられる日本最大級の総額 8 億円相当の金が輝く空間をお楽しみいただけます。



「黄金の館」イメージ

### <テンボスコインの実証実験について>

実証実験を行う「テンボスコイン」は、スマートフォンの無料アプリを活用した電子通貨プラットフォーム<sup>\*2</sup>で運用される電子通貨です。場内の指定の場所で「テンボスコイン」をチャージ（1 テンボスコイン=1 円）して、現金を使わずにハウステンボス内で食事や買い物の決済ができます。

このたび、ハウステンボスの従業員約 1300 名を対象に、社員食堂をはじめ、場内レストランや物販店舗で 12 月中旬から約 3 ヶ月間実証実験を実施します。（\*2）株式会社アイリッジが提供する電子地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」



### <今後の展開について>

本実証実験を通じて、お客様のご利用を想定し、利用シーンや技術面・セキュリティ面での課題を抽出し、本格運用に向けて改善を行っていきます。また、ハウステンボスに留まらず、電力小売り事業を展開する「HTB エナジー」をはじめ、グループ会社のほか、周辺地域の事業者が「テンボスコイン」に参画できるようブロックチェーンプラットフォーム技術の検証も予定しています。

将来的には「テンボスコイン」を、円やドル、ビットコイン等との両替可能な「仮想通貨」とすると同時に、世界初の「金本位制に基づく仮想通貨」として運用する計画です。今後も本計画の早期実現に向けて、様々な関係企業と連携しながら開発を進めていきます。

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》  
ハウステンボス株式会社 経営企画室 中野・牟田  
TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025  
<http://www.huistenbosch.co.jp>